

子どもの車内放置危険です

全国的に、幼いお子様が駐車場の車内に取り残され、熱中症等で命が奪われる事件が発生しています。たとえ短時間であっても、幼いお子様を車内に置いてその場を離れることは危険です。お子様を車内に放置するのは絶対にやめてください。



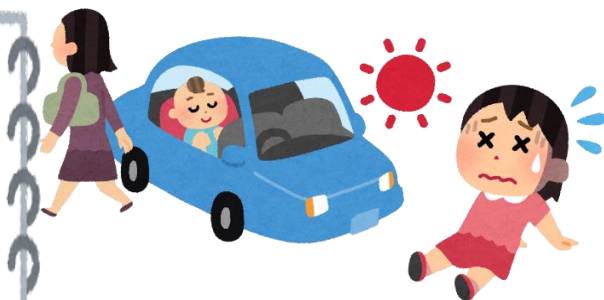
子どもが熱中症になりやすい理由

- ①汗腺などの体温調節能力が未発達（熱しやすく冷めやすい）
- ②体重当たりの体表面積が大人より大きく、高温時や炎天下では深部体温が上がりやすい
- ③乳幼児は、自分では行動できない（水分補給できない、助けを呼ぶことができない等）



JAFユーザーテストより

気温35℃の炎天下に駐車した車内の暑さ指数は、窓を閉め切った状態でエンジン停止後、わずか15分で人体にとって危険なレベルに達します。



皆様の目でお子様を守りましょう



「寝ているから」「ちょっとだけ」「忘れた」等、子どもを車内に置き去りにするのは、児童虐待（ネグレクト）に該当します。季節や時間は関係ありません。

車内放置を発見した場合、速やかに児童相談所や警察に通告してください。

※「児童虐待の防止等に関する法律」における虐待の定義で、児童の長時間の放置や、保護者としての監護を著しく怠ること」（第3項）があげられています。

通告先

①児童相談所虐待対応ダイヤル

☎ 1 8 9（いちはやく） ※通話料無料、夜間休日24時間365日対応

②警察 ☎ 1 1 0



【引用・参考文献】

大塚製薬ホームページ「熱中症からカラダを守ろう」

JAFホームページ「JAFユーザーテスト」

神奈川県ホームページ「子どもの車内放置は児童虐待です！」

千葉県ホームページ「子どもを車内に置き去りにすることは児童虐待（ネグレクト）にあたります！」

市役所



令和4年12月

小山市子育て家庭支援課 作成

☎ 0 2 8 5 - 2 2 - 9 6 2 6